

---

# 決算説明会資料

2004年5月21日

証券コード:1723

**ND** 日本電技株式会社



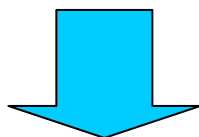
# 決算概要



# 04 / 3期首における戦略

## ● 事業環境

- ・新設市場減少、既設市場増加基調変わらず
- ・省エネルギー化ニーズ強い



## ● 事業戦略

既設市場への省エネルギー提案ビジネスを核に  
各事業に明確なミッションを

- ・新設 収益性改善、既設ストック確保
- ・既設 省エネ提案を核に積極的拡大
- ・その他 対象顧客、設備を絞り、提案ビジネス展開
- ・新規 実績づくりと新規顧客開拓の突破口として

# 決算ハイライト

(百万円、円、%)

	03 / 3期		04 / 3期			増減額	増減率
		百分比	中間期	通期	百分比		
売上高	22,413	100.0	6,486	20,522	100.0	1,891	8.4
営業利益	1,279	5.7	523	1,112	5.4	167	13.1
経常利益	1,173	5.2	513	1,140	5.6	33	2.8
当期純利益	608	2.7	357	621	3.0	13	2.0
総資本	17,540		15,467	17,216		324	1.8
株主資本	8,824		8,238	9,152		328	3.7
1株あたり当期純利益	72.00		43.61	68.49		3.51	
1株あたり株主資本	1,067.89		1,005.09	1,109.25		41.36	

# 貸借対照表の主な増減科目

(百万円、%)

	03 / 3期		04 / 3期		増減額
		構成比		構成比	
資産合計	17,540	100.0	17,216	100.0	324
流動資産	14,744	84.1	13,905	80.8	839
受取手形	3,641	20.8	2,706	15.7	935
完成工事未収入金	4,766	27.2	4,892	28.4	126
未成工事支出金	2,866	16.3	3,076	17.9	210
固定資産	2,796	15.9	3,310	19.2	514
負債合計	8,716	49.7	8,064	46.8	652
流動負債	8,116	46.3	7,426	43.1	690
支払手形	2,687	15.3	1,747	10.2	940
未成工事受入金	1,742	9.9	1,109	6.4	633
固定負債	600	3.4	638	3.7	38
退職給付引当金	464	2.7	487	2.8	23
資本合計	8,824	50.3	9,152	53.2	328

## 増減要因

- 受取手形の減少・・・得意先による手形レス化が主因(ファクシング等3月末残高950百万円)
- 固定資産の増加・・・情報システム構築、出資金等の投資等により増加
- 支払手形の減少・・・原材料仕入代金決済の手形レス化が主因
- 未成工事受入金の減少・・・前期末仕掛大型工事の完成計上、取引先による工事代金の手形レス化等により減少

# 損益の状況

(百万円、円、%)

	03 / 3期		04 / 3期		増減額	増減率
		構成比		構成比		
売上高	22,413	100.0	20,522	100.0	1,891	8.4
売上原価	17,605	78.5	15,888	77.4	1,717	9.8
売上総利益	4,808	21.5	4,633	22.6	175	3.6
販売費及び一般管理費	3,529	15.8	3,521	17.2	8	0.2
営業利益	1,279	5.7	1,112	5.4	167	13.1
営業外収益	26	0.1	29	0.1	3	11.8
営業外費用	132	0.6	1	0.0	131	98.7
経常利益	1,173	5.2	1,140	5.6	33	2.8
特別利益	24	0.1	93	0.5	69	274.6
特別損失	45	0.2	82	0.4	37	83.1
当期純利益	608	2.7	621	3.0	13	2.0

## 増減要因

売上総利益・・・利益率前期比1.1%改善するも、売上高減少が響き減益。

利益率改善 232百万円増、売上高減少 407百万円減。差引175百万円減

経常利益・・・株式公開費用やゴルフ会員権に係る評価損等の計上がなく、33百万円の減益にとどまる

当期純利益・・・特別利益(償却債権取立益)、特別損失(過年度社会保険料)を計上し、前期比微増

# キャッシュフローの状況

(百万円)

	03 / 3期	04 / 3期	差額
営業活動によるキャッシュフロー	1,061	709	352
投資活動によるキャッシュフロー	468	781	313
財務活動によるキャッシュフロー	27	280	253
現金及び現金同等物の期末残高	2,806	2,454	352

## 主な要因

### 営業活動によるキャッシュフロー

税引き前当期純利益1,150百万円、売上債権減少748百万円、未成工事受入金等の減少633百万円、未成工事支出金等の増加209百万円

### 投資活動によるキャッシュフロー

投資有価証券取得414百万円、出資200百万円、情報システム構築190百万円

### 財務活動によるキャッシュフロー

利益処分による配当金支払269百万円

# 事業別受注高、受注残高

(百万円、%)

	03 / 3期				04 / 3期			
	受注高	構成比	受注残高	構成比	受注高	構成比	受注残高	構成比
空調計装関連事業	18,031	89.6	9,174	94.3	17,107	87.8	7,992	91.9
空調計装工事	17,583	87.4	9,174	94.3	16,650	85.4	7,992	91.9
新設工事	8,500	42.2	6,680	68.7	6,957	35.7	5,404	62.1
既設工事	9,082	45.1	2,494	25.6	9,692	49.7	2,588	29.8
制御機器販売	448	2.2			457	2.3		
その他の計装関連事業	2,092	10.4	554	5.7	2,381	12.2	703	8.1
その他の計装工事	1,623	8.1	554	5.7	1,989	10.2	703	8.1
制御機器販売	468	2.3			392	2.0		
合 計	20,124	100.0	9,729	100.0	19,489	100.0	8,696	100.0

# 事業別売上高

(百万円、%)

	03 / 3期		04 / 3期	
		構成比		構成比
空調計装関連事業	20,172	90.0	18,289	89.1
空調計装工事	19,723	88.0	17,832	86.9
新設工事	10,831	48.3	8,233	40.1
既設工事	8,892	39.7	9,598	46.8
制御機器販売	448	2.0	457	2.2
その他の計装関連事業	2,240	10.0	2,232	10.9
その他の計装工事	1,772	7.9	1,840	9.0
制御機器販売	468	2.1	392	1.9
合計	22,413	100.0	20,522	100.0

# 今後の見通し、戦略



# 05 / 3期業績予想

(百万円、円、%)

	04 / 3期		05 / 3期予想			増減額	増減率
		百分比	中間期	通期	百分比		
売上高	20,522	100.0	8,070	21,500	100.0	978	4.8
営業利益	1,112	5.4	550	1,150	5.3	38	3.4
経常利益	1,140	5.6	540	1,200	5.6	60	5.2
当期純利益	621	3.0	340	700	3.3	79	12.7
総資本	17,216			17,450		234	1.4
株主資本	9,152			9,616		464	5.1
1株あたり当期純利益	68.49			78.08		9.59	
1株あたり株主資本	1,109.25			1,165.86		56.61	

受注増に伴い売上増の計画

人的投資等により利益は微増

# 事業別受注高、売上高予想

(百万円、%)

	04 / 3期				05 / 3期予想			
	受注高	構成比	売上高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比
空調計装関連事業	17,107	87.8	18,289	89.1	19,350	88.8	19,100	88.8
空調計装工事	16,650	85.4	17,832	86.9	18,900	86.7	18,650	86.7
新設工事	6,957	35.7	8,233	40.1	8,400	38.5	8,400	39.1
既設工事	9,692	49.7	9,598	46.8	10,500	48.2	10,250	47.7
制御機器販売	457	2.3	457	2.2	450	2.1	450	2.1
その他の計装関連事業	2,381	12.2	2,232	10.9	2,450	11.2	2,400	11.2
その他の計装工事	1,989	10.2	1,840	9.0	2,050	9.4	2,000	9.3
制御機器販売	392	2.0	392	1.9	400	1.8	400	1.9
合計	19,489	100.0	20,522	100.0	21,800	100.0	21,500	100.0

空調計装 / 新設 積極的受注確保 受注、売上大幅増へ

空調計装 / 既設、その他計装は市場拡大の波に乗って増収

# 事業別戦略(各事業の位置づけ)

## その他の計装関連

拡大事業として注力 ……未開拓分野  
が多い市場 / 民間設備投資活発化

従来は独立した事業展開 今後は空調  
計装事業とリンクさせた事業展開  
・工場建屋空調を手掛けたお客様も対象へ

対象市場の拡大

## 空調計装 / 新設

全ての事業の基礎 ……当事業の充実  
なくして他事業の拡大なし

従来の「守り」の営業 積極的物件確保の  
事業展開  
厳しい受注環境は「フィールドの技術力」  
でカバー

工場・  
産業市場から

提供サー  
ビスの充実

ソリューション事業  
(既設提案)

当社の将来を担う事業

民生用建築物市場から

## 空調計装 / 既設

利益の源泉であり、さらなる源泉  
の入り口となる事業

お客様の課題、ニーズを把握できる  
事業

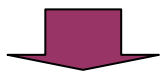
お客様の設備に関するパートナーへ  
人財の育成、確保をさらに積極化

# 業界動向 ~ 3つの課題の解決(その1)

## お客様が抱える3つの課題

### コスト

公共部門の財政逼迫  
既設建築物の増加  
維持管理費の増加  
キャッシュフロー経営の  
定着  
オフィスビル市場競争  
激化



ライフサイクルコストの削減

### 環境

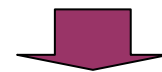
温暖化ガスの排出削減  
は地球的命題  
進まない民生部門の  
省エネ  
各種規制・法令の施行、  
強化  
環境のブランド化



省エネソリューションの提供

### 品質・安全

民間設備投資の活発化  
設備の高度化  
オフィスビル市場競争  
激化  
設備、施設の充実化  
セキュリティーニーズ  
増加  
環境のブランド化



設備を知りつくした  
パートナーの必要性

# 業界動向 ~ 3つの課題の解決(その2)

ライフサイクルコストの削減

省エネソリューションの提供

設備を知りつくした  
パートナーの必要性

「計装」によるソリューションの強み、機会

「計装」は低コストの設備  
更新手法  
・設備の入れ替え必要なし  
コスト把握のために「計装」  
は必要不可欠

「計装」はエネルギー使用  
状況を計測・監視・制御  
する技術  
エネルギー使用量は  
「計装」で制御可能

「計装」は設備と一体の  
技術  
・「計装」を知る技術者  
= 「設備」を知る技術者

「計装」でも安定収益確保は可能。しかし、より高い目標のために…  
当社の課題

抜本的なコスト削減には  
より大きなスキームも必要

時には計装以外の  
ソリューションツールも必要

特に工業・産業用設備の  
技術者が必要

# ソリューション事業戦略

ドメイン強化

あらゆる領域の計装へ

・工業、産業市場の設備

計装技術者のレベルアップ

・提案能力のさらなる向上

・積極的な人財育成、確保

提携、M & Aも

省エネルギー  
保証ビジネス  
ESCO事業

<コアドメイン>

ソリューション事業  
(計装によるソリューション)

ソリューションツール拡大

・照明調光システム、

マイクロコージェネレーション

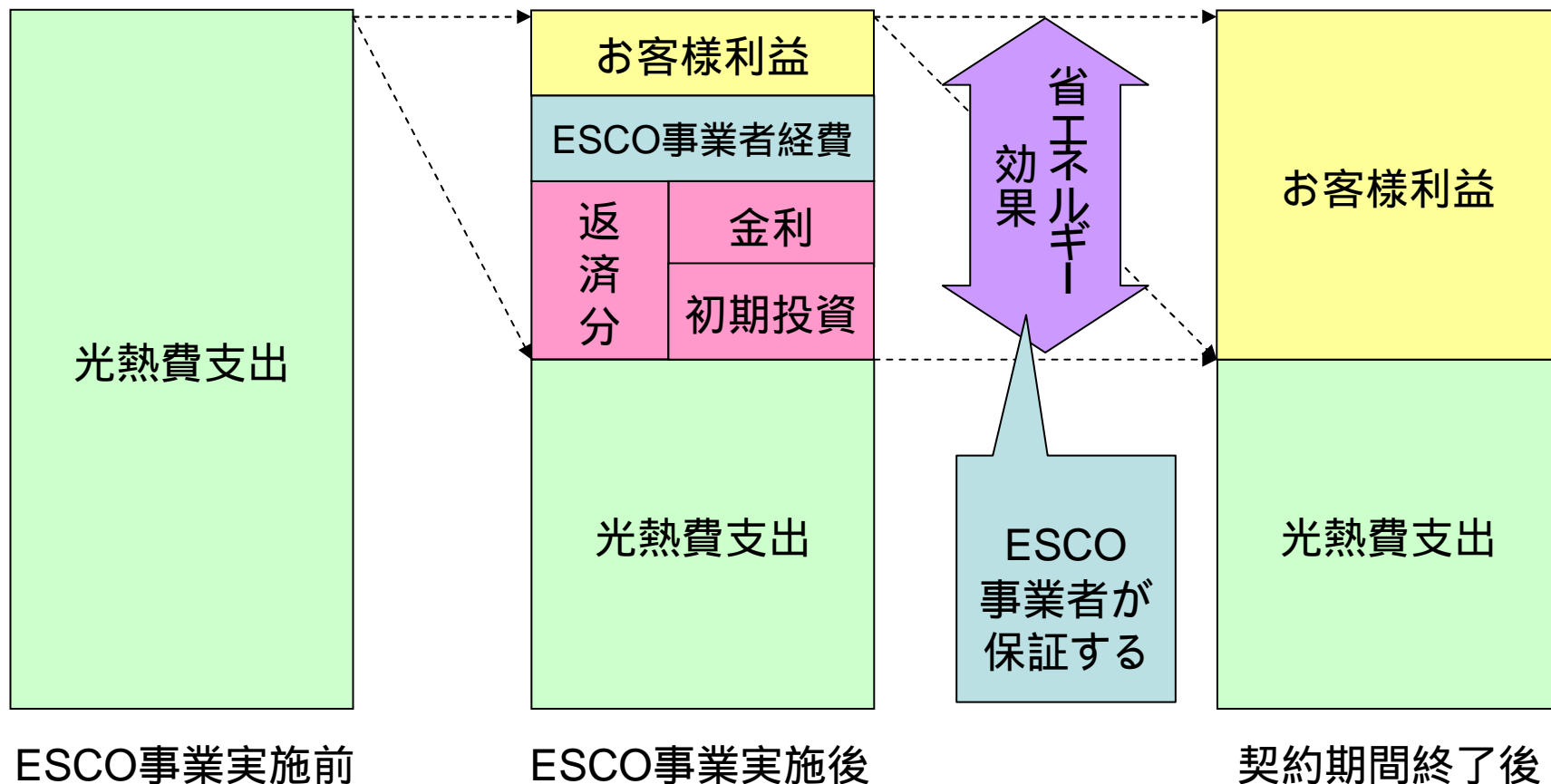
・あらゆる課題への対応

…セキュリティー、  
環境改善など

新規事業の展開

領域拡大

# ESCO事業について

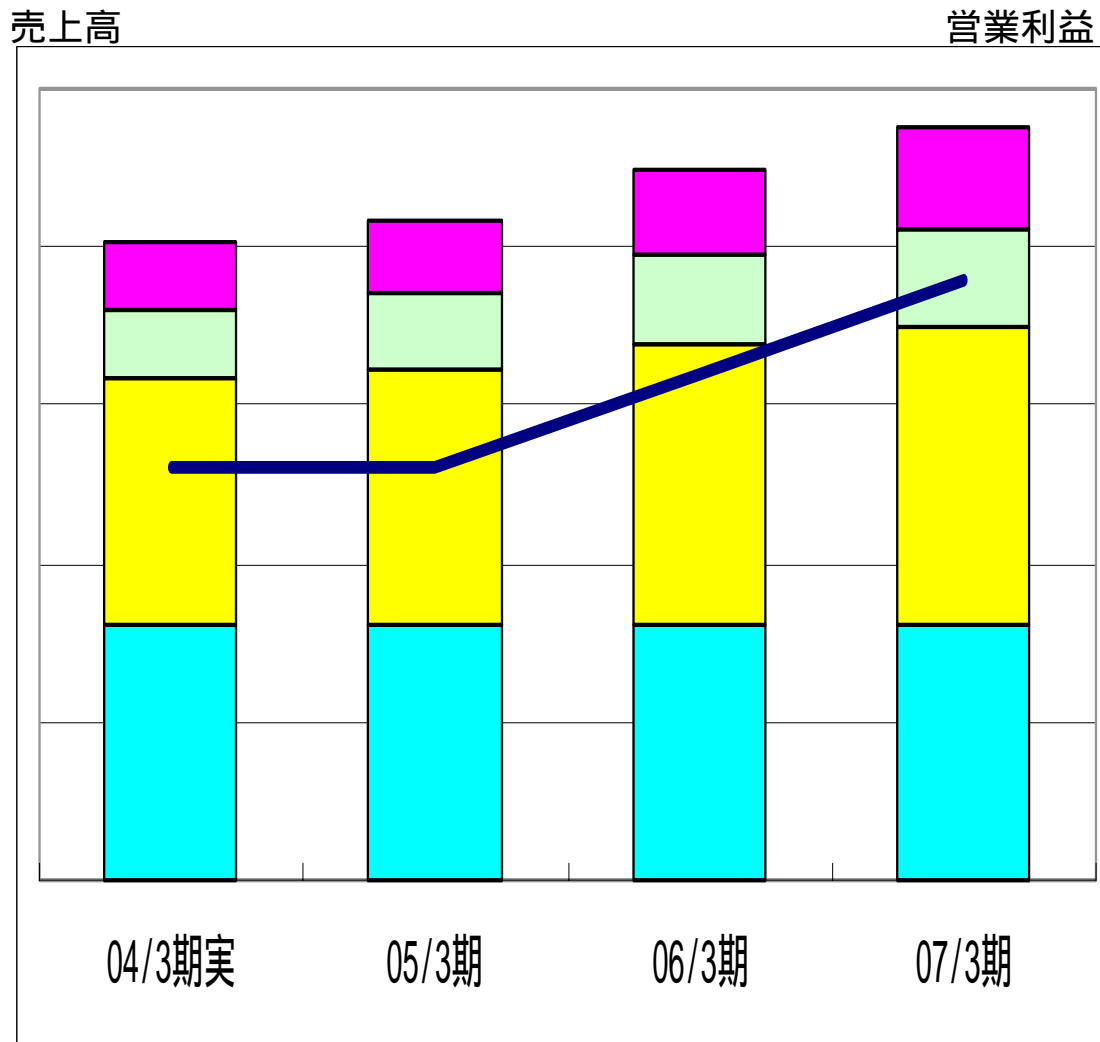


(財)省エネルギーセンター資料より

## ESCO事業成功のキー

事業者側リスクを抑えた契約、ビジネススキームの構築  
 省エネルギーを確実に達成する技術力  
 事業者側の与信 (シェアードの場合・補助資料参照)

# 中期事業計画イメージ



ソリューション  
最注力事業 6%成長

その他の計装関連  
拡大事業 10%成長

空調計装・既設  
成長市場 6%成長

空調計装・新設  
売上を05/3期ベースでキープ

営業利益  
05/3月期は投資、種まきの時期  
(人的投資、情報システム投資)

営業利益  
06/3月期以降に収穫の時期  
(ソリューション、その他計装に反映)



本日の説明会ならびに、IRに関するお問い合わせ等  
ございましたら、日本電技(株)経営企画室 までご連絡ください。

03 - 5624 - 1011

<http://www.nihondengi.co.jp/>

[ndkeiki@nihondengi.co.jp](mailto:ndkeiki@nihondengi.co.jp)

当資料に記載されている日本電技の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、  
これらは、現在入手可能な情報から得られた日本電技の経営者の判断に基づいています。  
実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。